

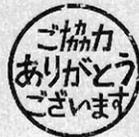
よっ葉だより

2022年
4月4日号
No.692

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



食の安全を越える有機農業の未来 — 地球再生の可能性を求めて —

NPO民間稲作研究所 2021年度シンポジウム
2022.2.19~20をオンラインで開催しました。

民間稲作研究所は稲葉光國さんが、循環型有機稲作技術の普及、研究するために設立しました。志半ばに2020年12月に逝去されましたが、有機農業者の舘野廣幸さんが理事長に就任し、稲葉農法の深水管理による抑草技術と成苗1~2本植えの病害虫・冷害対策の稲作を継承しています。

今回のシンポジウムは、技術的なお屈り下げと、2050年に政府がかかげている「みどりの食料システム戦略」の課題が中心でしたが、私たち消費者が、今後有機農業を前進させるためにやることを考えてみたいと思います。

— 食べてくれる人を増やさないと広がらない —

よっ葉生協では、有機農産物を増やしていますので、毎日食べることができですが、残念ながら、スーパー、直売所、道の駅でほしい有機農産物は、まだまだ並んでほしいのが現状です。

有機農業をすすめるには、作る人、食べる人が何倍も何十倍も増えないと、国がすすめている有機栽培農地を全体の25%目標には到達しません。

— 地球の緊急事態宣言 —

温暖化、異常気象による大洪水、干ばつは、即、食料危機につながります。

先日の新聞に、アフリカで最悪規模の干ばつに見舞われ、エチオピア、ソマリア、ケニアで1300万人以上が厳しい飢餓の脅威に直面していると載っていました。家畜も干ばつで餓死しています。

人道支援が実施されなかった場合、5月末までに460万人が急激な食料不安になる。一方で2021年南スーダンなどが大雨による洪水に見舞われた。

ファストフードで、フライドポテトが品切れだということが大きい話題になっていましたが、カナダ、アメリカの干ばつ、洪水の被害が日本にも波及したわけです。

ブラジルでは、開発事業による森林伐採で大洪水が起きていますが、人災です。

— 食料と自然環境再生のために —

消費者は、安全な食材として、有機農産物を選び食べます。健康と農家の生活応援につながります。

有機農産物は食べることに意味があるのでしょうか。食は命ですので、安心できる物を食べることは大事です。地球上には、飢餓に苦しむ人々、特に子どもが大勢います。地球が緊急事態宣言を解除し、少なくとも異常気象下でも作物を作れる地球に回復させなければなりません。有機農産物を食べることが、地球の地力回復に役立つなら、私達消費者は、自分達の健康だけでなく、地球の健康のためにも、飢えに苦しむ子ども達のためにも、もっと頑張ることが出来ます。

— 有機農業のすごい力 —

世界中の土壌が流出していると言われています。干ばつによる表土、森林伐採、大雨による洪水での流出があります。

印鑰智哉さんは「化学肥料使用から始まっている」と指摘しています。

土壌は、植物の根と菌根菌糸がからみ合って、根っこのかたまりを作りますが、化学肥料は、微生物を死滅させるので、土が水に溶けやすく流出の原因になります。いわゆるやせた土は、微生物の土着菌が少なく、野菜の根の張りが弱かったりすると、その野菜の成長を促すために化学肥料をまき、殺虫剤や病気予防に殺菌剤、周囲には除草剤をまくことで、畑が枯れた状態になってしまいます。

有機農業は、畑や田んぼにその土地の菌が増えることを手助けし、土の再生につながります。有機農業を応援し、選んで食べることは遠回りですが地道に確実に地球の元気回復の一助になる行動力です。

会長 冨居

無茶々園 オンライン産地見学会 ご報告! (3月2日 栃木委員会)

「見学には中々行けないよね」という話がきっかけで、実現した無茶々園オンライン産地見学会。当日は、爽やかな快晴で藤本さんの案内で見学が出来ました。

愛媛県西予市名浜町、山と海がある町の昔は芋等を栽培していた段々畑で、昭和30年ごろから柑橘へ本格的に転換し、140haの広大な土地で栽培をしているそうです。当時、農薬が環境問題になり、農家さん消費者を巻き込んで運動化。そして、お寺の園地を借りて無農薬栽培の実験園を作った所から始まりました。名前の由来がユニークで、「無農薬栽培は無茶な事かもしれないが、無茶苦茶に頑張ってやってみよう。しかし、楽しくやりたいので苦は除こう。そして、ネオン街の蝶を追っ掛けるより、みかん畑のMUCHACHA(アゲハチョウ)」を追いかけよう。」

MUCHACHA(ムチャチャ)とは、スペイン語で「女の子」「ちょうちょ」だそうで、そういう想いで「無茶々園」と命名しました。



すが、2回ほど塩害に遭い、みかんがほとんどダメになってしまい、加工品に殆どまわってしまった事があったそうです。

藤本さんが「新鮮な内に一杯食べて下さいね」とおっしゃっていました。(^^)

(栃木委員会 高際)



☆無茶々園でお仕事をされている皆さんの写真の笑顔が印象的でした。社会に役に立つ企業としての一面、美味しい柑橘などを届けるために努力を重ねる生産者の

一面をより知ることができたためになりました。よつ葉だよりの誌面だけよりも生配信で見て聴くことは本当にワクワクしました。

☆みかん畑からの中継が嬉しかったです。急斜面の畑に綺麗な海。その場で収穫したハサミの音に、蜜柑の香りを感じました!

☆無茶々の柑橘は本当に美味しくいつも箱で買っています。箱に生産者さんの写真がありますが、よく届く藤田さんに直接お話を聞くことができ、より身近に感じ嬉しかったです。急勾配の山での栽培に驚きです。感謝していただきます。

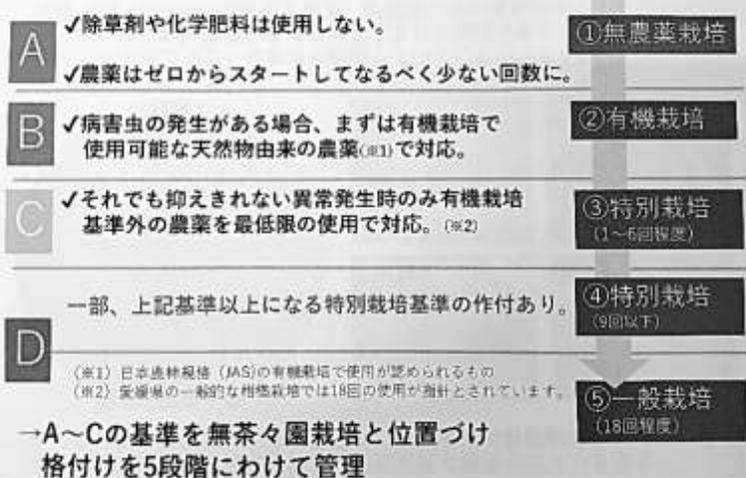
☆パソコンの向こうに広がるみかん畑。潮風と柑橘系の香が漂いそうなそんなプチ旅行気分の中にも段々畑での工夫とアイデア。生産者の思い、苦勞を感じ取るオンライン産地見学会でした。

☆無茶苦茶の苦をとって楽しく過ごせる様に名前をつけた由来や、農家さんの段々畑の無茶々園の畑からの中継など、急な斜面での収穫では、海や山、柑橘の香りが漂ってきそうな雰囲気でもとても楽しめました。山の太陽や海の風に大事にそだてられたみかんが益々美味しそうに感じられて購入するのが嬉しくなりました。

☆地域ぐるみで山も海も守る姿勢に感動しました。

☆オンラインで無茶々園の方々、生産地、組合員の皆さまと交流が出来て、とても良い会でした。無茶々園の歴史や携わった方々の思いや信念なども知ることが出来て、ますますファンになりました。これからも無茶々園の商品を楽しみしています。

柑橘栽培の考え方



柑橘36種類を栽培していて、5段階のランクに分けて管理しているのですが、今は温暖化で無農薬栽培が出来なくなってきました。化学農薬でしか対処できない病害虫が増加していて、農薬回数は基本的に特別栽培だと3回だそうです。農薬を使わないと見た目が悪くなってしまうのですが、なるべく無、減農薬栽培等を実践することは地域の川や海を守ることでもあるので、地域で取り組んでいるそうです。

水やりはスプリンクラーでしていて、収穫は果実で一杯になったラックを肩に担いで、レールにのせて貨車で運ぶので、ジェットコースターのような感じでした。

質問がいくつか出まして・・・

保存方法に関してですが、日陰、ベランダ、風通しの良い所で保管して下さい。

デコポンは腐りやすいので早めに食べて欲しいとのことです。

果物の甘さの秘訣は、水はけが良い、風通しが良い、潮風も適度なこの環境は柑橘に適していて、甘く実るそうです。

今までの塩害(潮風などに含まれる塩分による被害)に関してで

遠くにお住まいの方へ～よつ葉の「まごころ便」送riませんか？

よつ葉の「くらら」商品を、宅急便でよつ葉生協からお届けするシステムです。
ご家族や大切なご友人に、ぜひご利用ください。

(注) ご個人の持ち込み荷物は受付できません。

○ 常温商品
凍マークの商品
(アイスクリーム等以外)

(例)
米、乾麺類、調味料、乾物、菓子、
飲料、お酒、雑貨 など

※まごころ便の対象商品は
受付週の『くらら』の商品
となります。

北海道
1,400円
(2日後)

(注文)
まごころ便の専用用紙は配
送員におたずねください。
または、本部までご連絡く
ださい。
専用用紙をお届けします。

✕ 農産物
蔵マークの商品

(例)
アイスクリーム、パン類(冷凍以外)野菜、果物、
味噌、特別企画品(くらら以外のカタログ商品)、
翌々週配送商品、段ボール梱包できないもの、苗、
チケット など

北東北
(青森、秋田、岩手)
1,050円
(翌日)
南東北
(宮城、山形、福島)
900円
(翌日)

(配送&請求)
翌週末に配送はされます。
明細書兼請求書は定期配送日にお届
けいたします。

九州 **1,400円** (2日後)
中国 **1,150円** (2日後)
四国 **1,250円** (2日後)
関西 **1,050円** (翌日)
中部・北陸
関東・信越 **900円** (翌日)

+

クール料金 **¥310～¥910**

||

¥ 配送料合計額

※冷凍食品には上のクール便
料金がプラスされます。

沖縄
サイズにより
1,450円
～**2,950円**
(3日後)

沖縄は航空便利用の
離島扱いとなります。

ウクライナ緊急支援募金 受付中

ウクライナで2月24日から続く、ロシア軍による軍事侵攻。攻撃は日に日に激化しています。戦闘により
自宅を追われた人は1000万人を超え、このうち348万人以上が国外に逃れました。(3月22日、日経新聞)
国内で避難生活をする人たちの多くは、地下鉄や地下シェルターなどに身を寄せています。この中には当然
幼い子どもたちも多く含まれます。何日もかけて国外に逃れた人たちの多くが、女性と子どもたちです。親と
離れて避難した子どもたちには、人身売買の危険も迫っています。戦争の被害を一番こうむるのは、いつも、
何の罪もない子どもたちです。

よつ葉生協では緊急支援募金に取り組みます。お寄せいただいた募金は、日本ユニセフ協会(国連児童基金
の国内委員会)に、被災した子どもたちと家族の救済に使って
頂きます。



募金申し込み番号: No.865
3/28(月)から4/15(金)まで
提出用注文用紙の裏側、10品以上の注文欄
に865番(1口、100円)と記入してください。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223
☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
HP <http://yotsubacoop.jp/>
よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



ホーム
ページ



Facebook



Instagram